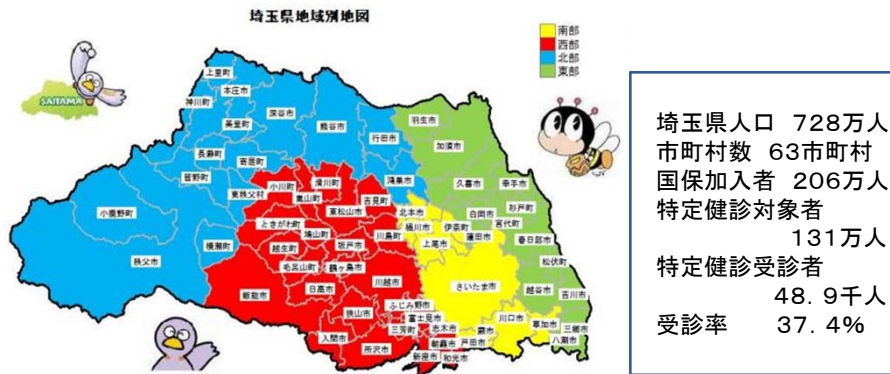


「データヘルス計画の策定支援を 通じた地域共通課題への取組と産業創成」

～保健所による地域共通の健康課題解決への取り組み～

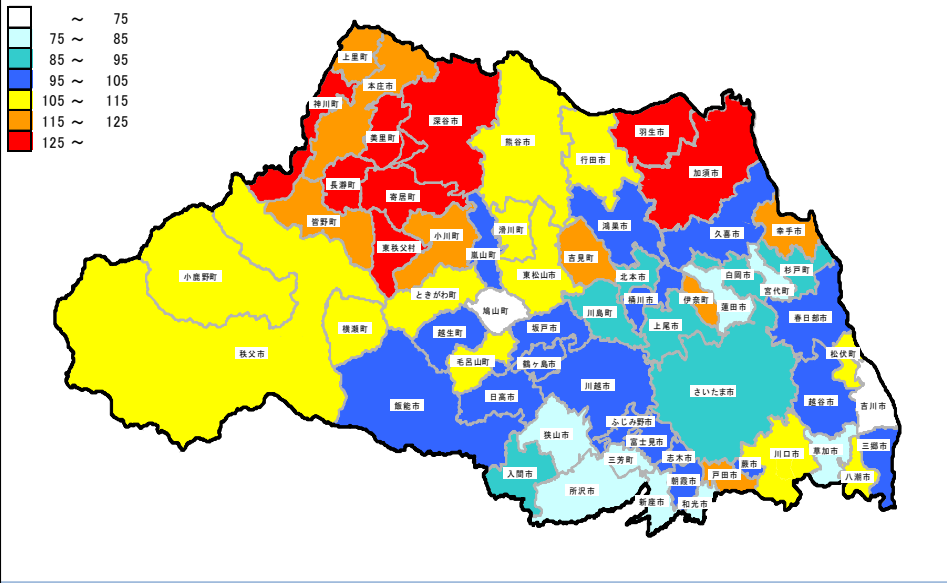


【埼玉県北部地域の健康課題】

- ・虚血性心疾患の年齢調整死亡率
平成22～26年 男性59.8(県51.9)
女性26.4(県22.6)
- ・脳血管疾患の年齢調整死亡率
平成22～26年 男性54.4(県51.9)
女性29.5(県27.1)。
- ・国民健康保険組合の特定健診受診率は、平均29.1%と低い状況
- ・平成26年度の透析等腎臓疾患による身体障害者手帳交付者は、前年比35人の増加で医療費増大の要因

県北部地域の男性の脳血管疾患による標準化死亡比は非常に高い

脳血管疾患 標準化死亡比(2010~2014年__埼玉県:100)【男】

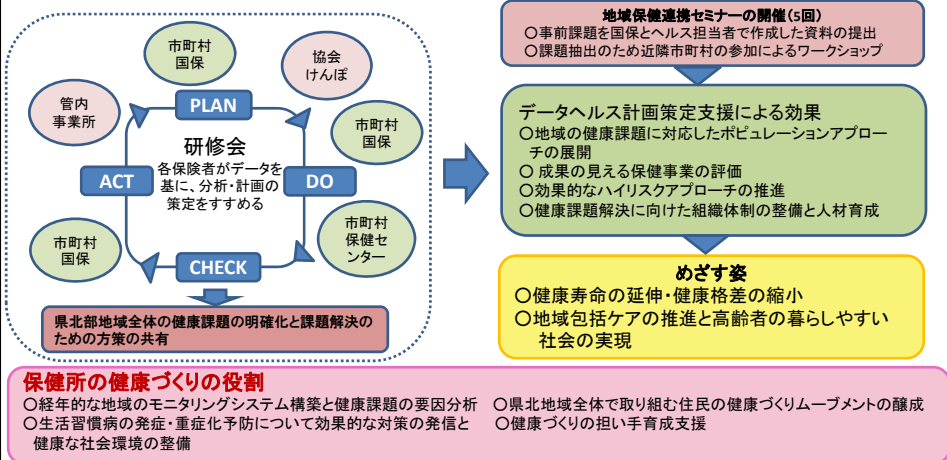


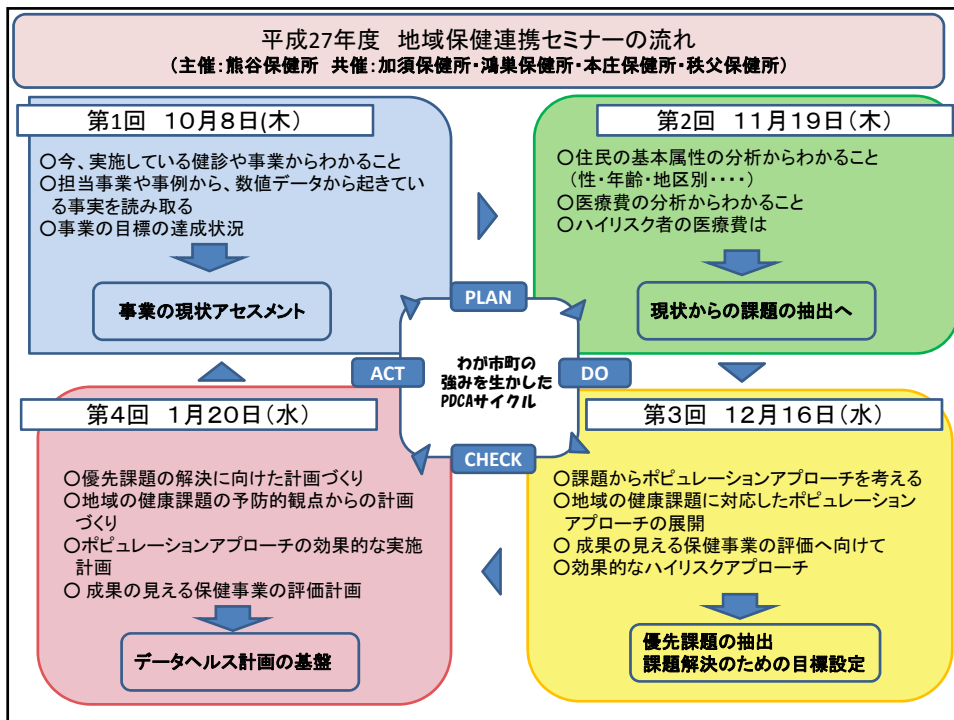
医療保険者のデータヘルス計画策定支援を通じた地域の健康課題解決

保健所のデータヘルス計画策定支援の目的

- ・国保とヘルス部門の連携を強化し、データに基づいた効果的な健康づくり対策を展開
- ・地域職域連携を効果的に推進し、地域全体の健康づくりを検討する場の創設
- ・県北部地域全体の健康課題と近隣市町村の取組を共有
- ・県北部地域の市町村と保健所、企業との連携強化

平成27年度熊谷保健所データヘルス計画策定支援事業





地域保健連携セミナー実施状況		参加: 16自治体の保険者と保健衛生担当者、2企業	
参加目的	人数		
現状の保健事業の評価について学びたかった。	18		
保健事業を地域の健康課題にあつたものとしたかった。	16		
住民の健康課題について知りたかった。	11		
特定健診の受診率を向上させる方法を学びたかった。	9		
国民健康保険データベース(KDB)の活用について知りたかった。	8		
データヘルス計画について学びたかった。	8		

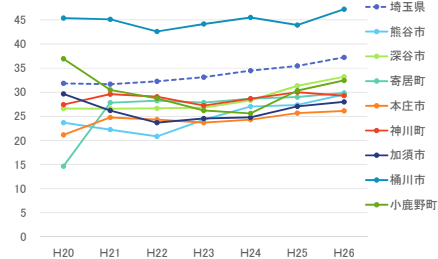
所属課	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
国保 主管課	15	14	15	14	9
保健 主管課	17	15	15	15	8
保健所	9	8	8	9	8
企業				2	1

[成果]関係者の連携強化

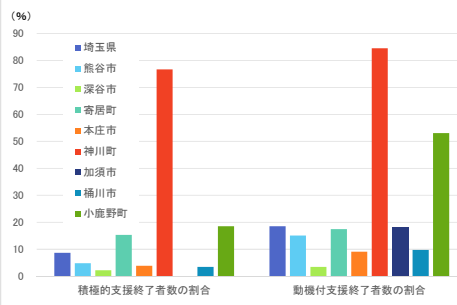
- ① 国民健康保険主管課と保健主管課職員との連携強化。
- ② 職域関係者は、市町の保健事業に関する取組を理解し働く世代の健康づくりの重要性を再確認。
- ③ 企業と行政の連携強化。

【結果】

特定健診受診率の推移

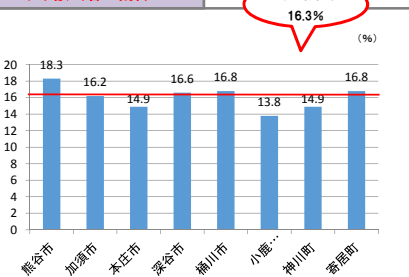


特定保健指導実施状況(平成26年度)



埼玉県北部地域の健康課題 ①(特定健康診査結果から)

メタボ該当者の割合 H26



健診結果

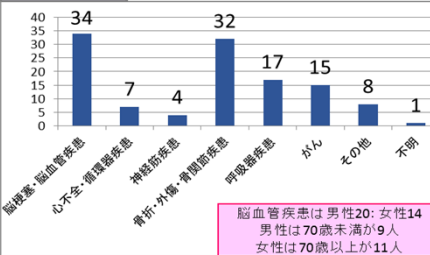
性別	高血糖	収縮期血圧	拡張期血圧
男性	40歳～	49.1	43.8
	64歳	63.1	40.6
	県北	63.1	40.6
女性	40歳～	47.7	34.1
	64歳	63.1	33.3
	県北	63.1	33.3

県北部地域の課題

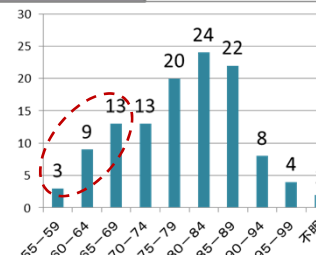
- 受診率が県平均と較べ低い
- 高血糖・拡張期血圧が県平均より高い
- 非メタボの受診動機値以上が多い
- 受診動機者の未受診者が多い

埼玉県北部地域の健康課題 ②(医療機関退院連絡の実態から) H28,1~5 118件

疾患別内訳



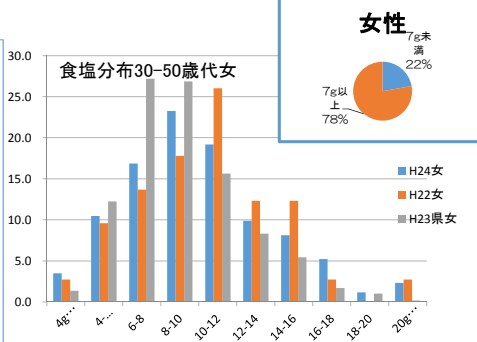
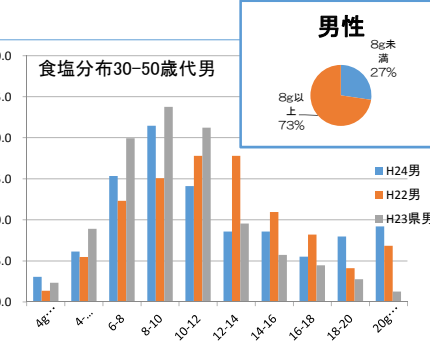
年齢別内訳

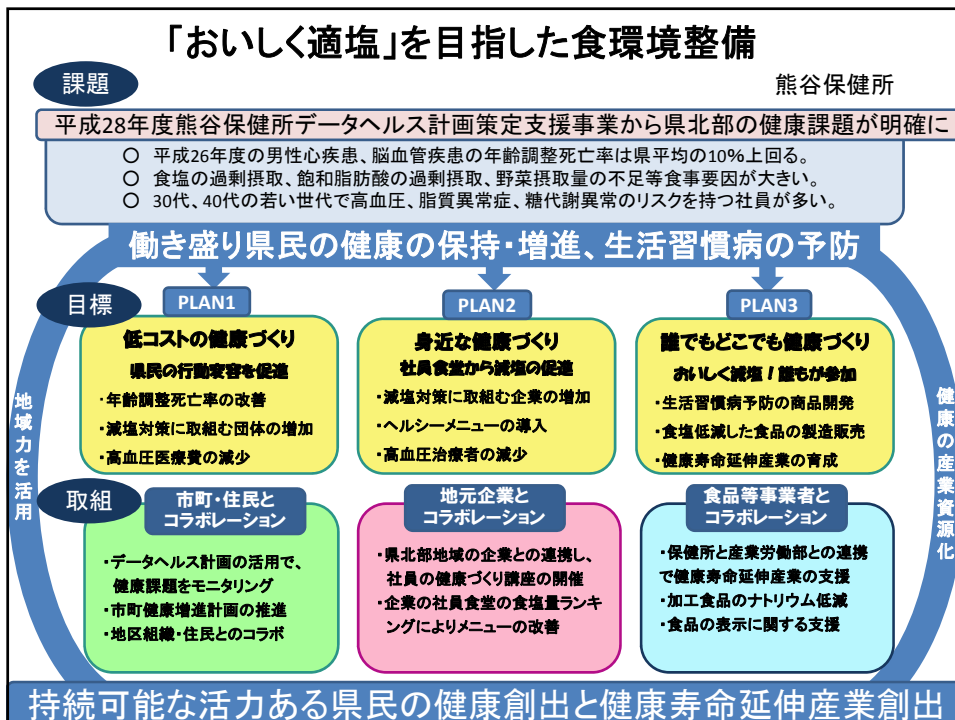
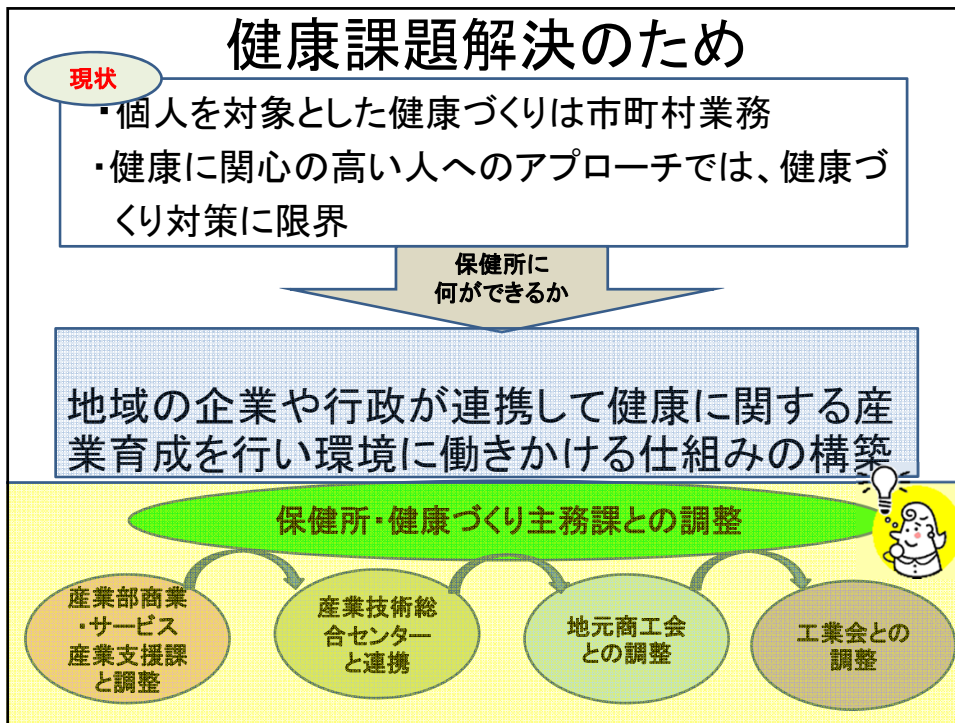


脳血管疾患の罹病状況

- 55-59歳 2人は男性
- 60-64歳 3人は男性
- 65歳-69歳 4人は男性

埼玉県北部地域の健康課題 ③ (栄養調査から)



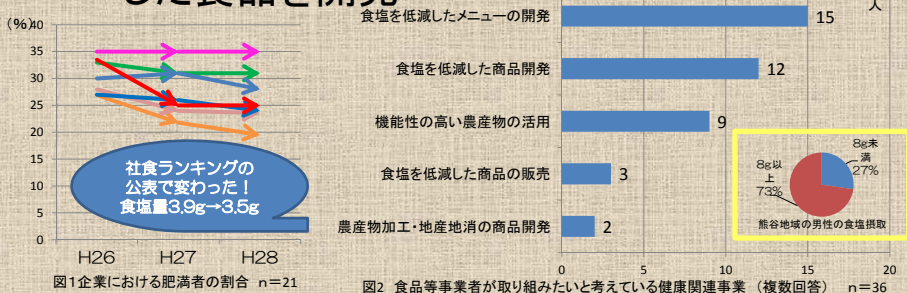


「おいしい適塩」を目指した食環境整備 ～働き盛りのサラメシ戦略～

成果は2つ

その1 企業の社員食堂のメニューの食塩量の低減
肥満と判定された社員の割合の減少

その2 健康寿命延伸産業育成により食塩を低減
した食品を開発



～データに基づいた保健活動推進のための人材育成について～

H29. 3月 保健医療政策課

平成25年4月に示された国の保健師活動指針では、地域の保健活動の基本的な方向性として、まず第1に「地域診断に基づくPDCAサイクルの実施」が挙げられており、今後の保健活動においては、データを活用しながら、根拠（エビデンス）に基づく効率的・効果的な保健活動を推進していくことが求められています。

<H28年度取組み>

- 第1回健康福祉セミナー
データヘルスの重要性と現在の取組みの現状
- 第2回健康福祉セミナー
健康経営における自己管理能力（ヘルスリテラシー）の重要性と保険者・企業・行政の連携
- 地域診断及び事業評価研修
地域診断スキルの向上と、PDCAサイクルに基づく事業評価手法の理解を深める

<H29年度取組み>

実際にデータを活用した計画策定・評価の支援に取り組み、より実践的な技術の獲得、知識の習得を目指す

【地域診断・事業評価研修】

国保医療課等との連携・協力のもと、第一次データヘルス計画の評価・第二次データヘルス計画策定等を題材として、管内市町村支援を行うとともに、地域保健に携わる職員のデータ活用能力の向上を目指す

